

対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪市中央区大手前1丁目7-31	氏名	京阪電気鉄道株式会社 取締役社長 中野道夫
特定事業者の主たる業種		42鉄道業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		京阪電気鉄道株式会社は、大阪府、京都府、滋賀県をつなぐ鉄道事業者である。 ひらかたパークは、京阪電気鉄道株式会社の子会社である株式会社京阪レジャーサービスが運営する遊園地である。 今般、鉄道事業及びレジャーサービス事業に伴う対策計画内容に変更するにあたり、変更対策計画書を届ける。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2020 年	4 月	1 日	～ 2023 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		5,928 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		6,321 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		5,552 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		6,130 t-CO ₂	
選択		目標削減率 (排出量ベース)	%
	レ	目標削減率 (原単位ベース)	3.5 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	0.1 %
目標削減率に関する考え方			
事業活動に伴う温室効果ガス排出量と事務所延床面積、鉄道保守用車運転時間、ひらかたパークの入場者数からそれぞれの原単位を算出している。そしてそれぞれの原単位を総合原単位として算出し、対前年度比1%削減を目標として年間評価している。			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (複数の値を持つため、下記記載)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)
事業活動に伴う温室効果ガス排出量と事務所延床面積(m ²)、保守用車運転時間(h)、入場者数(人)からそれぞれの原単位を算出している。

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

省エネ活動推進プロジェクトで、照明LED化他の省エネ施策を検討、実施している。 電気使用量については、年間使用量及び平準化使用量を定量的に集約している。
